

2015年9月

佐伯通信

【熱海だより】



撮影：ヤスクニ

熱海は比較的穏やかな梅雨入りだったが七月に入り大雨が降り続き、いきなり梅雨の晴れ間の暑さが見舞った。惜機荘に下りてみ

ると、「な、なんだ、これは」という異変が生じていた。櫟の庭の芝生がまるでナスカの地上絵模様のように枯れていた。まるで八岐大蛇がのたうった跡のようで奇妙な模様を描いているのだ。事故、病気、異変が起こるのはどういふわけか週末が多い。庭師に連絡をとるほどの大事故か、あれこれ考えた。最初に思い付いたのは、みかん（愛犬）が時折するオシッコが原因かと思った。だが、余りにも面積が大き過ぎる。ともかく月曜日を待って

熱海の地上絵

佐伯通信

2015年9月（平成27）
第29号
発行
佐伯泰英事務所
担当／講談社
禁・無断転載

2015年9月

佐伯通信

【近刊予告】

佐伯泰英／書下ろし新刊予定

2016年 1月
上旬発売予定

『居眠り 江戸双紙』
51

11月
28日発売予定

『新・古着屋総兵衛』
11

11月
14日発売予定

『鎌倉河岸捕物控』
27

10月
8日発売予定

『吉原裏同心』
23

新装改訂版『完本 密命』全26冊を続々再刊行！《祥伝社文庫》

10月 9日
発売予定

『初陣 霜夜炎返し』

12月 11日
発売予定

『悲恋 尾張柳生剣』

『交代寄合』名ゼリフ集

違いわ、藤之助。もつと遠くよ、長崎や日本の百年後を見詰め

贈り物にも最適です！
『二十三巻』全巻セット！
佐伯泰英
交代寄合伊那衆異聞
講談社文庫

佐伯作品の新しい魅力があふれていた「交代寄合」ついに完結です。「伊那スボ」最終号は、座光寺藤之助を登場人物たちに語ってもらいました。引き続き、佐伯作品をよろしくお願いします！
(講談社文庫出版部・野村吉克)

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。

<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2015年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと発行いたします。
(株)講談社、(株)角川春樹事務所、(株)双葉社、(株)光文社、(株)新潮社、(株)文藝春秋

座光寺藤之助

——部下の心得その一。

猪ノ助、それがしはもはや藤之助様かのようなことをなされようと驚くまいと心に決めておる。——古館光忠(12 謁見)

——女たちにも狙われる。

藤之助はん、あんたはんに玲奈様たらいうお方がいてなければ、あてが龍絡するんやけど。——染香(14 朝廷)

——誰も最強ヒロインにはかなわない。

るような眼差しをしてと言っているの。

——高島玲奈(6 攘夷)

——そして、ともに闘う仲間たちの絆は強い。

よい、われらが総大将は座光寺藤之助様であるぞ。それは死の時まで変わらぬ誓いじゃ。——黄大人(15 混沌)

出入りの岩城造園のN親方に電話すると、大雨で芝に菌が繁殖したのだらうというので、まずは除菌用の薬を散布することにした。営業のYも見に来て、「こんな奇妙な芝枯れは初めてと驚いていた。氣候異変がもたらした芝枯れらしい。遠くから熱海のががし祭りのお囃子(はやし)が聞こえてくる。祭りもその最中はいいが終わりは寂しい。長いシリーズを完結させるのも祭りの終わりに似て、虚ろな気分になられる。『交代寄合伊那衆異聞』の

第一巻『変化』は二〇〇五年七月に出た。以来、十年を超えてこの第二十三巻『飛躍』で完結する。長い旅路が終わったようで、気が抜けた。シリーズを始めたのが六十三歳、十歳足すとただ今の年齢だ。もはやこのような長編シリーズを始めるには無理な年齢に差し掛かった。「交代寄合伊那衆異聞」に続いて「居眠り聲音 江戸双紙」もビリオードを打つ。人生も小説も限りがあるから面白い、と自分で自分を慰める日々だ。

「佐伯通信」第30号は、11月14日刊行予定の「鎌倉河岸捕物控27店仕舞い」(ハルキ文庫)に入ります。出版社からのお知らせ
(文春文庫)
「酔いどれ小籐次 決定版」来春刊行スタート！
第三弾「桜吹雪」も絶好調の「酔いどれ小籐次」シリーズですが、なんと来年三月より元祖「酔いどれ小籐次」全二十巻を「決定版」と銘打ち、文春文庫より毎月刊行します。佐伯先生が改めて文章を磨き抜き、巻末には新たな読み物も付す予定。すでに小籐次を読破された方も見逃せないものになること必定です。新シリーズは二月と八月、その他の月は決定版。小籐次つくしです。ますます充実。来年の文春文庫にこの期待ください！